

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ) ワークショップ

11月10日、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンからファシリテーターの広瀬太智さんに来ていただき、児童労働について教えていただきました。一年生の生徒たちは、生活のために就労しなければならず、そのため満足に教育を受けられない子供たちの人生とその過酷さをカードゲームを通して学びました。

また、高校生でも世界を変えるアクションを起こすことができるということを学びました。自分の好きなことを生かし、それを社会問題と結びつけることで具体的にどう行動すべきなのかということが見えてきます。社会貢献をしたいと思っても実際にどのようなことができるか全くわからなかったのですが、その手がかりを知ることができました。

[生徒の感想]

- ・世の中にこんなにつらい経験をしている子供たちがたくさんいることを知ってショックを受けました。自分の知らないことをたくさん知ることができて、この講演を聞くことができてよかったです。
- ・学校に行くことが当たり前だと思っていたけれど、世界では、児童労働があたりまえになっている地域がたくさんあると知って衝撃だった。
- ・フリー・ザ・チルドレンの活動が、12歳の少年によってはじめられたと知った。とてもかっこいいと思った。自分も、心の中で考えているだけでなく、アクションを起こせる人になりたいと思った。

